

(お 知 ら せ)



2025年2月3日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2025年2月3日現在）

1 号 機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・第6回定期事業者検査中※（2024年3月27日～ 2025年5月中旬予定） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事 （2024年10月1日～）
2 号 機 加圧水型 （116万kW）	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定）

（ ）内は定格電気出力

<新規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2 号 機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2025年1月9日～2025年2月3日）

（1）法律に基づく報告事象
なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

① 敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクにおける腐食について

敦賀発電所2号機（第18回定期検査中）において、2025年1月21日10時06分頃、巡視点検中の当社社員が原子炉補助建屋地下1階（管理区域）にあるAおよびB洗たく廃液モニタタンク外表面の下部（胴部、底部）に複数の腐食痕を確認しました。

このため、タンク外表面を調査した結果、溶接線部に計68箇所の腐食痕を確認しました。

なお、腐食痕からのタンク水の滴下は見られず、腐食痕の表面をふき取り測定した結果、放射性物質は検出されませんでした。

その後、タンクの内表面を調査した結果、溶接線部の保護塗装の端部に隙間を確認しました。この保護塗装の一部を剥がしたところ、溶接線部に腐食を確認しました。また、浸透探傷検査の結果、外表面の腐食痕とほぼ同じ位置に欠陥を示す指示模様を確認したため、タンク内表面から外表面に向かって腐食が進行したものと推定しました。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。
今後、腐食が発生した原因について、調査してまいります。

(別紙参照)

- (3) 保全品質情報等
なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(2025年2月3日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理、及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

- (1) 敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画の修正について

原子力災害対策特別措置法に基づき、関係自治体との協議を踏まえて原子力事業者 防災業務計画を修正し、1月31日に内閣総理大臣及び原子力規制委員会に届け出ました。

(1月31日お知らせ済み)

- (2) 敦賀発電所1号機 定期事業者検査の状況について

敦賀発電所1号機は、2024年3月27日から第6回定期事業者検査を実施していますが、原子炉格納設備の内、原子炉建物通常用換気系(原子炉建屋主排気ファン)の交換部品の納期が遅れることになったため、定期事業者検査の終了時期を5月中旬までに変更しました。

- (3) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間：9：30～16：30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

- ① 己書で出逢ったなかまたち展2025!

嶺南地域で活躍する己書師範(7名)とその道場生の皆様に構成された、己書で出逢ったなかまたち(代表:江草 真理様)の作品展です。「集う」をテーマにした作品を、300点展示予定です。

(2月11日～2月16日(最終日は15：00まで))

- ② 日本習字 寿教室作品展

小学1年生から70代の方まで在籍する日本習字寿教室(代表:矢田 寿代様)の約50名の皆様による作品展です。かきぞめ競書大会に出品した画仙紙を中心に、150点展示予定です。

(2月18日～2月23日(最終日は16：00まで))

以上

< 問 合 せ 先 >
日本原子力発電株式会社
敦賀事業本部 立地・地域共生部
〔担当：高橋、垣見〕
電話：0770-25-5612

2025年2月3日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクにおける腐食について

敦賀発電所2号機（第18回定期検査中）において、2025年1月21日10時06分頃、巡視点検中の当社社員が原子炉補助建屋地下1階（管理区域）にあるAおよびB洗たく廃液モニタタンク※¹外表面の下部（胴部、底部）に複数の腐食痕を確認しました。

このため、タンク外表面を調査した結果、溶接線部に計68箇所の腐食痕を確認しました。

なお、腐食痕からのタンク水の滴下は見られず、腐食痕の表面をふき取り測定した結果、放射性物質は検出されませんでした。

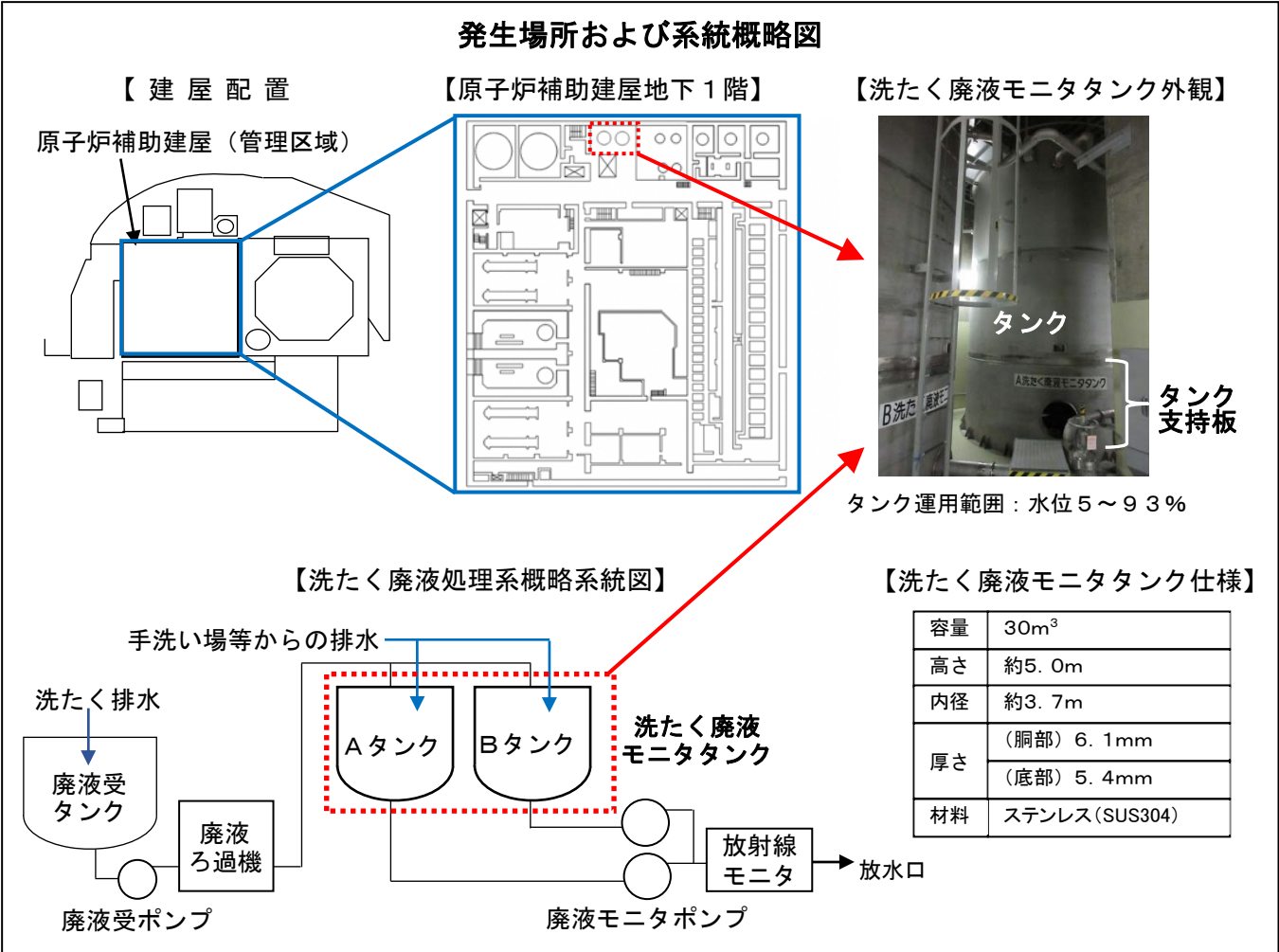
その後、タンクの内表面を調査した結果、溶接線部の保護塗装※²の端部に隙間を確認しました。この保護塗装の一部を剥がしたところ、溶接線部に腐食を確認しました。また、浸透探傷検査※³の結果、外表面の腐食痕とほぼ同じ位置に欠陥を示す指示模様を確認したため、タンク内表面から外表面に向かって腐食が進行したものと推定しました。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

今後、腐食が発生した原因について、調査してまいります。

- ※1 1、2号機の管理区域で使用した衣服の洗たく等に伴い発生した水をフィルターで処理し、放射能濃度を測定後に放出するため一時的に貯めておくタンク。
- ※2 2014年に発生した洗たく廃液モニタタンクからの漏えい事象対策として、タンク内表面の溶接線部にエポキシ樹脂を接着させたもの。
- ※3 試験体表面に開口しているきずを目で見やすくするため、可視染料の入った高浸透性の液を浸透させた後、余分な浸透液を除去し、現像剤により浸透指示模様として観察する方法。

以上



【洗たく廃液モニタタンク仕様】

容量	30m ³
高さ	約5.0m
内径	約3.7m
厚さ	(胴部) 6.1mm
	(底部) 5.4mm
材料	ステンレス(SUS304)

